
平成22年度 安全衛生活動報告書

「全学における安全衛生活動及び
安全衛生推進室の取り組み」

Safety & Health Activity Report('10)

九州工業大学 安全衛生推進室

学 長 挨 拶



九州工業大学 学長
松永 守央

教育、研究と社会への貢献が大学の機能です。教職員、支援職員、学生による活動を通して、これらの目標を達成する必要がありますが、安全衛生管理と保健管理は活動を支える重要な基盤の一つです。九州工業大学では、安全衛生健康ポリシーを実現するため、5項目の活動方針と10項目の主要項目を掲げて取り組んでいます。

昨年3月11日に発生しました東日本大震災では、1万9千余人の方々のご逝去・行方不明になられています。衷心からの哀悼の意をお伝えいたします。また、依然として35万人以上の皆様に被害が及んでおり、微々たる力で申し訳なく思いますが、本学としても復興・復旧に全面的な協力を惜しみません。このような大震災には日頃からの危機管理体制の整備が不可欠ですが、安全衛生管理と保健管理にも日常の活動と全構成員の意識が重要です。

労働安全衛生法は、労働災害の防止のための危害防止基準の確立、責任体制の明確化及び自主的活動の促進の措置を講ずる等、その防止に関する総合的計画的な対策を推進することにより職場における労働者等の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的としています。大学では学生の活動も含まれるため、快適な学習環境の実現と、実習・実験環境の改善を通して、学生の安全と健康を確保することも重要となります。本学の安全衛生推進室では、大学の業務を安全に遂行できる快適で健康的な環境を保証するため、全学的な活動を実施しています。その経過と成果を、平成22年度の活動報告書として社会に発信いたします。安全衛生推進室の活動をさらに充実するため、皆様からのご助言とご支援をお願い致します。

平成22年度安全衛生活動報告書の発刊に当って



安全衛生推進室長
石川 眞澄

本学の教育研究を支える基盤の一つとして、安全衛生管理と保健管理があります。九州工業大学安全衛生保健ポリシーの安全衛生保健活動方針にも書かれている通り、大学においては、教職員のみならず学生をもその対象に含めるところが、企業と大きく異なる点です。法令上も、労働安全衛生法だけでなく、学校保健安全法等の遵守が求められます。

企業が安全衛生管理・保健管理に関する長い歴史を持っているのとは対照的に、国立大学は法人化の前後に初めて、教職員と学生を含めた安全衛生管理・保健管理活動に組織的に取り組み始めたと言っても過言ではありません。このような状況の中で、本学が中央労働災害防止協会主催の全国産業安全衛生大会でこれまで3回の研究発表を行ってきたことは、優れた取り組みの反映として自信を持って良いと考えます。殆どが産業界からの参加者である同大会での発表は、各地区での着実な安全衛生管理・保健管理活動なくしては到底不可能であり、また学生を良好な安全衛生保健環境の中で教育していることを産業界にアピールする格好の機会であったと考えます。

ただ、ここで気を緩めてはこれまでの努力が水泡に帰します。今後も引き続き、安全衛生管理・保健管理活動のPlan-Do-Check-Act（PDCA）サイクルを着実に実行することにより、安全安心の基盤の上に、大学の本来の使命である教育研究が大いに進展することを願っています。

九州工業大学安全衛生保健ポリシー

九州工業大学の理念

わが国の産業発展のため、品格と創造性を有する人材の育成

九州工業大学の基本方針

- 1 教育については、開学以来の教育理念を基本とし、志（こころざし）と情熱を持ち産業を切り拓く技術者・知的創造者を養成するため、質の高い教育を実行します。
- 2 研究については、研究活動を常に活性化し、より多くの優れた研究成果を創出します。特に本学の各分野において、科学に裏付けられた融合技術や境界領域の創成を行います。
- 3 社会との連携については、教育・研究で培った知の公開と価値創造型もの創りを推進し、技術革新を社会を支えるイノベーションにつなげ、地域社会との連携と調和に務めます。
- 4 大学運営については、社会に対する大学の責任（University Social Responsibility）を重視し、大学に係るステークホルダーに対する説明責任を果たせる経営を行います。

九州工業大学の安全衛生および保健のための活動概念

安全衛生管理と保健管理は、本学の教育研究活動を支える基盤の一つ

九州工業大学安全衛生保健活動方針

- 1 労働安全衛生法や学校保健安全法等の、安全衛生保健関係諸法令を遵守すると共に、必要な自主基準を設け、安全衛生のレベル向上を図ります。
- 2 安全で衛生的かつ快適な作業環境及び教育環境の実現を図ります。
- 3 安全衛生マネジメントシステムを導入し、継続的に安全衛生のレベル向上に努めます。
- 4 安全衛生と保健に関する情報を教職員及び学生に周知し、意識の向上に努めます。
- 5 教職員及び学生の心と身体の健康増進を支援します。

安全衛生保健活動の主要項目

- ① 法令遵守：法令遵守及び安全衛生レベルの向上に必要な自主基準の設定。
- ② 労働安全衛生マネジメントシステム：体制の整備、理解と周知、専門家の養成。
- ③ リスクマネジメント：ハザード把握、リスク評価、改善の実施と効果測定。
- ④ 労務管理：安全衛生管理に係る労務の効率化及び適正化。
- ⑤ 組織構築/管理：各地区の状況把握と地区に対する適切な管理体制の整備・構築を支援。
- ⑥ 責任体制：各組織及び組織間の責任体制の明確化、個々の活動における役割・責任の表明。
- ⑦ 啓発/教育：安全衛生及び保健の重要性について職員及び学生への周知による意識の向上。
- ⑧ 予算管理：必要な予算の確保。
- ⑨ 評価：安全衛生に携わる教職員に対する適切な評価の実施。
- ⑩ 情報の共有：学内外からの積極的な情報収集共有。

平成 22 年度安全衛生活動報告書（H22.4～H23.3）

「全学における安全衛生活動及び安全衛生推進室の取り組み」

目次

0. はじめに

- ・学長挨拶 P 1
 - 安全衛生推進室の役割について -
- ・安全衛生推進室長 P 2
 - 平成 22 年度安全衛生活動報告書の発刊に当って -
- ・九州工業大学安全衛生保健ポリシー P 3

1. 安全衛生推進室の組織と活動

- 1-1 安全衛生推進室員について P 6

添付:1-1-1

- 1-2 平成 22 年度活動計画

添付:1-2-1

1-2-2

1-2-3

1-2-4

- 1-3 組織運営に関する会議および部会の開催状況 P 13

2. 作業環境管理

P 15

（作業環境測定及び有機溶剤・特定化学物質使用ヒアリング）

- a. 戸畑地区
- b. 飯塚地区
- c. 若松地区

P 16

3. 作業管理

（各地区の職場巡視）

- a. 戸畑
- b. 飯塚
- c. 若松

4. 健康管理

- 4-1 実施健康診断及び対象者について P 17

- ①一般定期健康診断
- ②人間ドック
- ③有機溶剤健康診断
- ④特定化学物質健康診断
- ⑤電離放射線健康診断

- 4-2 受診率について P 19

添付:4-2-1

- 4-3 有所見率について

添付:4-3-1

5. 安全衛生教育 P 22

6. 各地区の活動 P 23

(各地区活動のトピック)

- a. 戸畑
- b. 飯塚
- c. 若松

7. 参考資料 P 25

・九州工業大学指揮命令系統

1. 安全衛生推進室の組織と活動

1-1 安全衛生推進室員について

平成 22 年度の安全衛生推進室員は、次のような変更があった。

平成 22 年 4 月 1 日	安全衛生推進室員配置 — 重末・工学部技術専門職員 — 藤田・情報工学部技術専門職員
平成 22 年 7 月 1 日	安全衛生推進室員配置(※人事異動に伴う配置) — 本多・人事課長補佐 — 福本・事務職員(専任)
平成 23 年 2 月 28 日	安全衛生推進室員解除 — 力武・保健師

(添付 1-1-1:安全衛生推進室構成員)

1-2 平成 22 年度活動計画

部門ごとに活動計画を作成し、これに基づいて活動を行った。

(添付 1-2-1:平成 22 年度安全部門・作業環境測定部門・環境管理部門計画)

(添付 1-2-2:平成 22 年度安全部門・作業環境測定部門・環境管理部門活動結果)

(添付 1-2-3:平成 22 年度衛生部門計画)

(添付 1-2-4:平成 22 年度衛生部門活動結果)

安全衛生推進室構成員

担当	所属	氏名	備考
室長	副学長 (評価・総務担当)	いしかわ ますみ 石川 眞澄	兼任 (H22.4.2 発令)
安全部門主幹	安全衛生推進室	かきもと こうじ 柿本 幸司	専任 (H17.8.16 発令) ※作業環境測定部門主幹、環境 管理部門主幹を兼ねる。
衛生部門主幹	産業医科大学	かじき しげゆき 梶木 繁之	委嘱 (H17.8.1～)
人事課長	人事課	のぐち かずひろ 野口 起宏	兼任 (H20.12.1 発令)
人事課課長補佐	人事課	ほんだ みつじろう 本多 光二郎	兼任 (H22.7.1 発令)
室員	安全衛生推進室	ふくもと たかし 福本 高司	専任 (H22.7.1 発令)
〃	工学研究院 物質工学研究系	まわたり よしひで 馬渡 佳秀	兼任：戸畑地区 (H17.8.1 発令)
〃	工学部技術部	えぐち しょういち 江口 正一	兼任：戸畑地区 (H18.10.1 発令)
〃	工学部技術部	しげすえ たかひさ 重末 貴寿	兼任：戸畑地区 (H22.4.1 発令)
〃	情報工学部技術部	あらかわ ひとし 荒川 等	兼任：飯塚地区 (H17.8.1 発令)
〃	情報工学部技術部	ふじた むねはる 藤田 宗春	兼任：飯塚地区 (H22.4.1 発令)
〃	生命体工学研究科 技術室	はつだ ともあき 初田 智明	兼任：若松地区 (H17.8.1 発令)
〃	工学部技術部	たぶち まこと 田渕 誠	兼任：戸畑地区 (H18.4.1 発令)
産業医	保健センター	おやま なおみ 小山 直己	兼任：戸畑地区 (H22.4.1 発令)
〃	戸畑地区	まるやま たかし 丸山 崇	委嘱 (H20.10.1～)
〃	飯塚地区	たばた ひでとし 田端 英俊	委嘱 (H22.6.1～)
臨床心理士	保健センター	きくち ていichirou 菊池 悌一郎	兼任：戸畑地区 (H17.10.1 発令)

保健師	〃	よこた やすこ 横田 康子	兼任：若松地区(H17.10.1 発令)
〃	〃	たなか えり 田中 絵里	兼任：飯塚地区(H22.4.1 発令)

安全衛生推進室：〔戸畑地区〕 教育研究 7 号棟

作業環境測定室：〔戸畑地区〕 教育研究 7 号棟

平成22年度安全部門計画

項目	H.22 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H.23 1月	2月	3月
薬品管理システムの全学運用	管理状況の把握と実態調査 登録の推進											
ハザードデータベースの全学運用	導入教育 データ移動											
大学構成員の安全衛生意識の向上 (相互巡視月間)	新入学者等安全教育				安全講話			安全講話				
(推進室巡視)			相互巡視			相互巡視			相互巡視			
(上席職員巡視)		推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視	推進室巡視
							室長巡視 学長巡視等					
大学施設の安全確保	建物内通路不法放置状況把握 移動勧告											
大学内喫煙の適正化	現状の把握 検討											
	再導入教育 再勧告											
	周知 実行											

作業環境測定部門計画

作業環境測定	ヒアリング	若松・戸畑	飯塚			ヒアリング	若松・戸畑	飯塚				
技術部への作業移行	見学会	見学会				実習	実習					

環境管理部門計画

廃液・廃棄物管理業務	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
技術部への作業移行	講習会									見学会	実習	実習

(添付1-2-1)

平成22年度 安全部門活動結果			
主要活動	活動目標	実施状況	評価
1. 薬品管理システムの全学運用	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、④、⑦を実行するために、システム上での化学薬品等管理を行う。	1. 管理状況の把握と実態調査 2. 再導入教育 3. システムへの登録推進	○
2. ハザードデータベースの全学運用	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、③、⑦、⑩を実行するために、ハザードデータベースを全学的に構築する。	1. 若松地区は運用開始、他地区は今後運用予定	△
3. 大学構成員の安全衛生意識の向上	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、⑦を実行するために、安全パトロールなどの啓蒙活動を実施する。	1. 新入学生等安全教育 2. 安全講話 3. 安全部門の室員による推進室巡視 4. 学長、室長巡視	○
4. 大学施設の安全確保	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、⑦を実行するために、廊下上物品を撤去し、避難経路を確保する。	1. 廊下上物品の状況把握 2. 廊下上物品の移動勧告 3. 通常巡視と併せて、避難経路の確認	○
5. 大学内喫煙の適正化	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、⑦を実行するために、受動喫煙防止に伴う喫煙場所の見直しを行う。	1. 分煙の現状把握 2. 広範囲の喫煙場所を縮減 3. 利用者の要望に配慮した適正配置	○
平成22年度 作業環境測定部門活動結果			
1. 作業環境測定	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、⑦を実行するために、作業環境測定を実施する	1. 各地区年2回の作業環境測定実施	○
2. 技術部への作業移行	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、⑤を実行するために、作業環境測定業務を技術部に依頼する。	1. 特定の技術職員を指名し、講習等実施	○
平成22年度 環境管理部門活動結果			
1. 廃液・廃棄物管理業務	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、⑦を実行するために、廃液・廃棄物の適正処理を行う。	1. 定期的に廃液・廃棄物を回収し、環境管理に配慮しつつ、適正処理を実施	○
2. 技術部への作業移行	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、⑦を実行するために、受動喫煙防止に伴う喫煙場所の見直しを行う。	1. 特定の技術職員を指名し、講習等実施	○

○ 目標達成。 △ 目標の一部達成。 × 目標まで達成せず

平成22年度 九州工業大学衛生計画

衛生部門

主要活動

評価項目

1. メンタルヘルス対策①④⑦

1. メンタルヘルス対策ワーキンググループの開催

2. 手順書の運用・見直し①②⑥⑨

1. 手順書による既存活動の運用とその見直し

- 1) 健康診断に関する手順の運用・見直し
- 2) 保健指導に関する手順の運用・見直し
- 3) 職場復帰支援に関する手順の運用・見直し
- 4) 個人面談に関する手順の運用・見直し
- 5) 個人情報管理に関する手順の運用・見直し

活動スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議関係	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議	安全衛生推進会議
		メンタルヘルスWG	衛生部会				衛生部会				衛生部会	
					メンタルヘルスWG		メンタルヘルスWG		メンタルヘルスWG		メンタルヘルスWG	
健診関係	生活習慣病予防健診	電離放射線健康診断(新規)	電離放射線健康診断(継続)	一般定期健康診断			子宮がん検診		電離放射線健康診断(継続)	特定化学物質健康診断		
	人間ドック開始			VDT健康診断			乳がん検診			有機溶剤健康診断		
	特定健診開始			特定化学物質健康診断						有機溶剤健康診断		
				有機溶剤健康診断								

※衛生部会では、年度計画の進捗を確認する。

平成22年度 衛生部門計画結果

主要活動	活動目標	実施状況	評価
1. メンタルヘルス対策	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、④、⑦を実行するために、職場環境や衛生状況を見直し、改善等行う。	1. 健康活力調査票を用いた調査表の企画・立案 2. 大学事務職員への実施にかかる予算確保 3. 調査後の個人対応に関する産業医・保健師・カウンセラー間での検討 4. 調査の実施	○
2. 手順書の運用・見直し	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①、②、⑥、⑨を実行するために、各種手順書の見直しを行う。	1. 健康診断に関する手順の運用・見直し 2. 保健指導に関する手順の運用・見直し 3. 職場復帰支援に関する手順の運用・見直し 4. 個人面談に関する手順の運用・見直し 5. 個人情報管理に関する手順の運用・見直し	○
3. 健康診断受診率の維持	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目①を実行するために、法令による健康診断の受診率を維持することにより、多くの職員の自覚を促し、健康に対する意識の向上を図る。	1. 職員健康診断 … 95.6% (人間ドック受診者も含む) 2. 有機・特化健康診断 … 100% 3. 電離放射線健康診断 … 100%	○
4. 上記以外の活動	安全衛生保健ポリシーに掲げる主要項目を実行するために、衛生活動を推進する。	1. 喫煙場所の削減を行い、受動喫煙の拡大を防止 2. インフルエンザ対策として、学内の各棟に消毒液を配置 3. 休職中の職員に対し、復職プランを作成することを検討	○

○ 目標達成。 △ 目標の一部達成。 × 目標まで達成せず

1-3 組織運営に関する会議および部会の開催状況

安全衛生推進室の運営に関する会議および部会を以下のとおり開催した。

開催年月日	検討事項
平成 22 年 5 月 11 日 第1回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生推進室活動計画 ・薬品管理システムの運用 ・毒劇物使用届出書・毒劇物安全教育実施報告 ・戸畑地区衛生管理者の任命 ・議事録の回覧 ・安全衛生推進室全体会議の開催 ・安全衛生講習会 ・第 69 回全国産業安全衛生大会における研究発表の審査結果
平成 22 年 6 月 15 日 安全衛生推進室全体会議	<ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年度活動報告および平成 22 年度計画 全国産業安全衛生大会の参加
平成 22 年 6 月 15 日 衛生部会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度衛生部門活動計画 ・今年度の各種健康診断 ・診断書内容報告書 ・メンタルヘルスWGの進捗状況
平成 22 年 6 月 15 日 第2回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第 69 回全国産業安全衛生大会の参加 ・議事録の公開 ・薬品管理システムの運用
平成 22 年 6 月 29 日 第3回(メール会議) 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・飯塚地区衛生管理者の変更
平成 22 年 7 月 8 日 安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品管理システムの更改
平成 22 年 7 月 13 日 第4回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度各地区の安全衛生活動計画 ・ドラフトの一斉点検 ・喫煙ポリシーの全学規定化 ・薬品管理システムの規定化の中間状況 ・平成22年度戦略的経費の申請 ・オープンキャンパス当日の喫煙場所一部撤去の依頼 ・レーザ月間の実施 ・教育研究7号棟の危険物貯蔵倉庫
平成 22 年 8 月 10 日 第5回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区総括安全衛生管理者に対する活動質問状 ・危機管理に関する取り組み等 ・年度計画の評価スケジュール ・レーザ月間の実施に係る担当教員の意見 ・安全衛生トップセミナー ・全国産業安全衛生大会の出席者決定
平成 22 年 9 月 14 日 第6回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・中期目標・中期計画の平成22年度月別計画 ・平成21年度安全衛生推進室活動報告書 ・全国産業安全衛生大会の発表者出席依頼 ・マテリアル棟移転に伴う喫煙場所の移設 ・NPO法人「研究実験施設・環境安全教育研究会」 ・鳥取大学の作業環境測定の手当に関する問い合わせ
平成 22 年 10 月 26 日 第7回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に関する取り組み等 ・安全衛生推進室活動報告書の内容 ・全国産業安全衛生大会 ・寄付金の申込について

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度活動報告 ・飯塚地区の活動質問状に対する回答 ・薬品管理システムの規則化 ・退職者備品・薬品整理に関するルール ・薬品の取扱等に関する説明会
平成 22 年 10 月 26 日 衛生部会	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断のフィードバック ・活動報告書の集約依頼 ・健康講話 ・年間計画の進捗状況 ・たばこの卒煙支援
平成 22 年 11 月 15 日 安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品管理システム運用に関する説明会
平成 22 年 11 月 17 日 第8回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルスに係るストレス調査 ・薬品管理に関わる飯塚地区からの提言 ・特定非営利活動法人の相談窓口設置に関する案内 ・九州地区国立大学法人安全衛生連絡会 ・健康診断の受診状況 ・安全部会からの報告
平成 22 年 12 月 15 日 第9回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の年度計画の暫定評価の実施及び平成23年度の年度計画案 ・平成23年度全国産業安全衛生大会 ・九州地区国立大学法人安全衛生連絡会 ・メンタルヘルス調査 ・飯塚地区からの提言書に対する回答 ・人事院勧告の人件費削減に伴う余剰分の使途 ・資格を要する業務 ・NBC演習
平成 23 年 1 月 18 日 第10回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度の年度計画 ・事故報告 ・貴金属系排水処理装置の停止 ・GCの購入 ・室長巡視 ・健康活力調査 ・安全衛生推進室の体制 ・安全講習会 ・教授会での啓蒙活動
平成 23 年 2 月 15 日 第11回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生推進室規則の一部改正及び室員の構成変更 ・環境管理部門の業務内容変更 ・退職者の備品及び薬品の処理 ・安全講習会 ・名古屋大学、名古屋工業大学の廃棄物管理 ・事故発生から事故報告書提出までの手順 ・安全衛生に関わる資格費用
平成 23 年 3 月 3 日 安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で必要な資格 ・安全衛生推進室の組織変更 ・薬品管理システムに関する教育方法 ・技術部への業務移行依頼
平成 23 年 3 月 15 日 第12回 安全衛生推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生推進室規則の一部改正 ・薬品管理システムの登録範囲 ・本学に必要なとする資格の必要数及び要する経費 ・平成23年度安全衛生管理部門、環境管理部門年度計画 ・飯塚・若松の室長巡視 ・若松地区産業医 ・安全衛生推進室員の業務分担 ・平成23年度全国産業安全衛生大会 ・安全衛生標語の募集

2. 作業環境管理（作業環境測定及び有機溶剤・特定化学物質使用ヒアリング等）

a. 戸畑地区

大学内有資格者が作業環境測定を実施した。昨年度までの研究内容等が変更となった旨届出のあった研究室が数箇所あり、使用薬品変更の有無を各研究室へ確認した後、柿本作業環境測定士がデザインを行い、辛川作業環境測定士、技術部職員らが試料採取にあたった。すべての試料は、柿本作業環境測定士が分析および資料整理を行った。

この分析結果によれば、すべての測定場所において、第一管理区分の状況が保たれており、好ましい状況であった。

薬品管理システムは、大部分の研究室において有用に活用され順調に稼動しているものの、すべて順調に稼動している状況ではなく、各研究室毎に詳細な確認を行ったところ誤記入がかなりある状況である。またごく一部ではあるが、IDを登録したのみで登録がまったくされていない研究室が少なからずあり、今後はこれらの研究室の登録推進および確実な登録作業の依頼が必要である。

b. 飯塚地区

柿本作業環境測定士が各研究室へ薬品類の使用についてメールにて研究内容変更の有無を確認した後、デザインを行い、柿本作業環境測定士および技術部職員の補助によって試料採取が行われた。学内便によって戸畑地区へ試料の移動を行い、そのすべての試料を柿本作業環境測定士が作業環境測定実験室において分析した。

分析の結果、すべての測定場所は第一管理区分であったので、引き続きこの状況を維持すること及び更なる環境改善の努力が望まれる。

薬品管理については、戸畑地区同様の状況であり、今後は地区独自の登録作業の推進をお願いするところである。

c. 若松地区

昨年度までの研究内容等が変更となった旨届出のあった研究室が数箇所あったため、使用薬品変更の有無を各研究室へ確認した後、柿本作業環境測定士がデザインを行い、柿本作業環境測定士、技術部職員らが試料採取を一部行った。すべての試料は、戸畑へ搬送され、柿本作業環境測定士が分析および資料整理を行った。

この分析結果によれば、すべての測定場所において、第一管理区分の状況が保たれており、好ましい状況であった。

薬品の管理状況については飯塚地区と同様な状況である。

3. 作業管理(各地区の職場巡視)

a. 戸畑

月1回産業医が職場巡視を実施し、週1回安全管理者、衛生管理者の数名が安全巡視を実施した。

長期休暇(夏季休業、冬季休業、学年末休業等)の教育・研究活動が休止されている時期においては、事務担当部局の各居室を巡視し、事務所則に準拠した各種環境測定を同時に実施した。

いずれの巡視に関しても、安全衛生委員会にて月例報告として、産業医、安全・衛生管理者が、その月ごとの巡視状況を報告し、職場環境の問題点や改善策に関して討議した。

巡視現場の責任者には、職場環境の指摘事項を記した報告書を示し、その改善対応を行った報告があれば、安全衛生委員会のメンバーにその報告書をノーツ等で閲覧できるようにすることで、改善内容等の見直しを行った。

b. 飯塚

月1回の安全衛生委員会の終了後、産業医以下、安全管理者、衛生管理者を含む数名により、研究室等巡視を実施した。

また、衛生管理者等が別途週1回研究室等を巡視し、その結果は安全衛生委員会やさらに重要なものについては教授会で報告された。

c. 若松

月1回の安全衛生委員会の終了後、産業医以下、安全管理者、衛生管理者を含む数名により、研究室等を巡視した。

また、衛生管理者等が別途週1回研究室等を巡視し、その結果は安全衛生委員会で報告された。

4. 健康管理

4-1 実施健康診断及び対象者について

平成 22 年度に実施した健康診断(人間ドック含む)及び対象者については、以下のとおりである。

① 般定期健康診断

実施年月日:(戸畑)平成 22 年 7 月 21 日(水)、7 月 26 日(月)、7 月 27 日(火)(午前のみ)

(飯塚)平成 22 年 7 月 20 日(火)、7 月 26 日(月)

(若松)平成 22 年 7 月 28 日(水)(午前のみ)

実施項目:(全対象者)身長・体重測定、胸部エックス線間接撮影、血圧測定、視力検査、聴力検査、尿検査、視診・問診・聴打診

(35 歳及び 40 歳以上の対象者)血液検査、心電図検査、

(40 歳以上の希望者)胃検診、大腸がん検診

実施対象者:職員(ただし、人間ドック受診者で大学に報告書を提出する者・非常勤職員のうち勤務時間が週 20 時間に達しない職員を除く。)

② 人間ドック

実施年月日:平成 22 年 5 月～平成 23 年 1 月

実施項目:身長体重測定、エックス線間接撮影、血圧の検査、視力検査、聴力検査、尿検査、視診・問診・聴打診、血液検査、心電図に加え、各病院のコースによる項目

実施対象者:共済組合員(35 歳以上)及びその配偶者(35 歳以上)のうち希望者

③ 有機溶剤健康診断

実施年月日:(戸畑)前期 - 一般定期健診と同日

後期 - 平成 23 年 2 月 7 日(月)、2 月 8 日(火)

(飯塚)前期 - 一般定期健診と同日

後期 - 平成 23 年 2 月 21 日(月)

(若松)前期 - 一般定期健診と同日

後期 - 平成 23 年 2 月 15 日(火)

実施項目:身長・体重・視力・聴力・問診・尿検査・血液検査・眼底検査のうち、使用有機溶剤に対応した項目

実施対象者:下記有機溶剤を使用する実験室に滞在する時間が週 4 時間を超える職員(対象有機溶剤)

クロロホルム/四塩化炭素/1, 2-ジクロロエタン/1, 2-ジクロロエチレン/1, 1, 2, 2-テトラクロロエタン/トリクロロエチレン/二硫化炭素/アセトン/イソブチルアルコール/イソプロピルアルコール/イソペンチルアルコール/エチルエーテル/エチレングリコールモノエチルエーテル/エチレングリコールモノエチルエ

ーテルアセテート/エチレングリコールモノブチルエーテル/エチレングリコールモノメチルエーテル/p-ジクロルベンゼン/キシレン/クレゾール/クロルベンゼン/酢酸イソブチル/酢酸イソプロピル/酢酸イソペンチル/酢酸エチル/酢酸ブチル/酢酸プロピル/酢酸ペンチル/酢酸メチル/シクロヘキサノール/シクロヘキサノン/1, 4-ジオキサン/ジクロルメタン/N, N-ジメチルホルムアミド/スチレン/テトラクロルエチレン/テトラヒドロフラン/1, 1, 1-トリクロルエタン/トルエン/ノルマルヘキサン/1-ブタノール/2-ブタノール/メタノール/メチルイソブチルケトン/メチルエチルケトン/メチルヘキサノール/メチルシクロヘキサノン/メチルブチルケトン

④特定化学物質健康診断

実施年月日: 有機溶剤健康診断(上記③)と同時に実施

実施項目: 問診、尿検査、血液検査、握力、血圧、肺活量、エックス線直接撮影のうち、使用特定化学物質に対応した項目

実施対象者: 下記特定化学物質を使用する実験室に滞在する時間が月 1 時間を超える職員(対象特定化学物質)

ジクロルベンジジン及びその塩/アルファ-ナフチルアミン及びその塩/塩素化ビフェニル(別名PCB)/オルト-トリジン及びその塩/ジアニシジン及びその塩/ベリリウム及びその化合物/ベンゾトリクロリド/アクリルアミド/アクリロニトリル/アルキル水銀化合物(メチル基 or エチル基に限る。)/石綿(アモサイト及びクロシドライトを除く。)/エチレンイミン/塩化ビニル/塩素/オーラミン/オルト-フタロジニトリル/カドミウム及びその化合物/クロム酸及びその塩/クロロメチルメチルエーテル/五酸化バナジウム/コールタール/三酸化砒素/シアン化カリウム/シアン化水素/シアン化ナトリウム/3, 3'-ジクロロ-4, 4'-ジアミノジフェニルメタン/臭化メチル/重クロム酸及びその塩/水銀及びその無機化合物(硫化水銀を除く。)/トリレンジイソシアネート/ニッケルカルボニル/ニトログリコール/パラジメチルアミノアゾベンゼン/パラ-ニトロクロルベンゼン/弗化水素/ベータ-プロピオラクトン/ベンゼン/ペンタクロルフェノール(別名PCP)及びそのNa塩/マゼンタ/マンガン及びその化合物(塩基性マンガンを除く。)/沃化メチル/硫化水素/硫酸ジメチル

⑤電離放射線健康診断(職員・学生対象)

電離放射線健康診断(職員・学生対象)については、以下のとおり実施した。

- ・従事前健康診断(病院において実施)…電離放射線業務従事開始者に対して実施する健診
(戸畑) 平成 22 年 5 月 23 日 ~ 6 月 18 日 ※若松は対象者なしのため、未実施
(飯塚) 平成 22 年 5 月 18 日 ~ 5 月 28 日

- ・定期健康診断(学内において実施)…電離放射線業務従事者に対し6ヶ月毎に実施する健診
 (戸畑、若松) 前期 - 平成22年6月22日(火)、6月29日(火)
 後期 - 平成23年3月29日(火)
 (飯塚) 前期 - 平成22年6月29日(火)
 後期 - 平成23年3月22日(火)

4-2 受診率について

各健康診断受診率については、以下のとおりである。

(添付4-2-1:各健診の受診状況)

4-3 有所見率について

各健康診断有所見率については、以下のとおりである。

(添付4-3-1:有所見者一覧)

平成22年度職員健康診断受診率

	一般定期		人間ドック	特殊健診(前期)		特殊健診(後期)		電離健診(前期)	電離健診(後期)
	(うち35・40以上)	うち36～39及び34歳以下		有機溶剤	特化物	有機溶剤	特化物		
全学受診率(%)	95.87%		93.24%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
			95.39%	100.00%		100.00%			

各地区における健康診断受診率

	戸畑キャンパス								
	一般定期		人間ドック	特殊健診(前期)		特殊健診(後期)		電離健診(前期)	電離健診(後期)
	(うち35・40以上)	うち36～39及び34歳以下		有機溶剤	特化物	有機溶剤	特化物		
受診者(人)	319人		81人	16人	12人	16人	12人	21人	26人
	197人	122人							
未受診者(人)	9人		4人	/	/	/	/	/	/
	7人	2人							
全対象者(人)	328人		85人	16人	12人	16人	12人	21人	26人
	204人	124人							
受診率(%)	97.26%		95.29%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
			96.85%	100.00%		100.00%			

	飯塚キャンパス								
	一般定期		人間ドック	特殊健診(前期)		特殊健診(後期)		電離健診(前期)	電離健診(後期)
	(うち35・40以上)	うち36～39及び34歳以下		有機溶剤	特化物	有機溶剤	特化物		
受診者(人)	240人		40人	15人	11人	15人	11人	17人	12人
	165人	75人							
未受診者(人)	11人		3人	/	/	/	/	/	/
	9人	2人							
全対象者(人)	251人		43人	15人	11人	15人	11人	17人	12人
	174人	77人							
受診率(%)	95.62%		93.02%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
			95.24%	100.00%		100.00%			

	若松キャンパス								
	一般定期		人間ドック	特殊健診(前期)		特殊健診(後期)		電離健診(前期)	電離健診(後期)
	(うち35・40以上)	うち36～39及び34歳以下		有機溶剤	特化物	有機溶剤	特化物		
受診者(人)	68人		17人	5人	2人	6人	3人	3人	3人
	40人	31人							
未受診者(人)	7人		3人	/	/	/	/	/	/
	2人	2人							
全対象者(人)	75人		20人	5人	2人	6人	3人	3人	3人
	42人	33人							
受診率(%)	90.67%		85.00%	100.00%		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%
			89.47%	100.00%		100.00%			

有所見者一覧(平成22年度)

○一般定期健康診断有所見者数

	39歳以下				40歳以上				合計			
	戸畑	飯塚	若松		戸畑	飯塚	若松		戸畑	飯塚	若松	全学
	聴力有所見(1000Hz)	0	1	1	9	4	1	1	9	5	2	16
聴力有所見(4000Hz)	2	1	0	21	7	3	3	23	8	3	34	
胸部X線有所見	1	0	0	2	3	0	0	3	3	0	6	
血圧有所見	7	7	3	40	20	3	3	47	27	6	80	
貧血有所見	7	4	0	20	9	4	4	27	13	4	44	
肝機能有所見	3	4	4	45	22	8	8	48	26	12	86	
血中脂質有所見	7	8	4	92	45	25	25	99	53	29	181	
血糖検査有所見	7	3	0	25	10	4	4	32	13	4	49	
尿(糖)有所見	7	2	0	2	2	2	2	9	4	2	15	
尿(蛋白)有所見	2	3	3	11	2	1	1	13	5	4	22	
心電図有所見	1	0	0	16	4	6	6	17	4	6	27	

	有所見率			
	戸畑	飯塚	若松	全学
	2.82%	2.08%	2.94%	2.55%
	7.21%	3.33%	4.41%	5.42%
	0.94%	1.25%	0.00%	0.96%
	14.73%	11.25%	8.82%	12.76%
	8.46%	5.42%	5.88%	7.02%
	15.05%	10.83%	17.65%	13.72%
	31.03%	22.08%	42.65%	28.87%
	10.03%	5.42%	5.88%	7.81%
	2.82%	1.67%	2.94%	2.39%
	4.08%	2.08%	5.88%	3.51%
	5.33%	1.67%	8.82%	4.31%
	57.99%	45.83%	66.18%	54.23%

上記いずれかの項目で所見のあった職員(実数)	合計			
	戸畑	飯塚	若松	全学
	185	110	45	340

※1 経過観察以上を、有所見として挙げた。

(添付4-3-1)

5. 安全衛生教育

職員および学生を対象とし、以下のとおり安全衛生教育を実施した。

1. 廃液管理者および管理補助者説明会

(戸畑地区)

日 時 : 平成 22 年 4 月 9 日(金) 13:00 ~ 15:00

場 所 : C-3C講義室(総合教育棟南側3階)

(飯塚地区)

日 時 : 平成 22 年 4 月 14 日(水) 10:30~12:00

場 所 : 2102講義室

(若松地区)

日 時 : 平成 22 年 4 月 15 日(木) 16:10~17:30

場 所 : 講義室1, 2

※会場の様子(戸畑地区)



6. H22 年度各地区の活動(各地区活動のトピックス)

A. 戸畑

- ・レーザー機器使用者による交差巡視(全学)
 - ・局所排気装置定期自主検査講習
 - ・安全衛生ホームページの作成・更新
 - ・法定安全衛生巡視の実施・・・ 産業医(月1回)、衛生管理者等(週1回)
 - ・安全衛生ミーティングの実施(年2回実施)
 - ・法令点検対象機器 点検実施状況調査(クレーン、プレス/シャー、第2種圧力容器、局所排気装置)
 - ・喫煙場所の適正化(場所の削減および再検討)
 - ・化学物質安全管理支援システム運用状況監査
 - ・廊下物品の調査・撤去
 - ・防災訓練の実施
 - ・薬品及び廃棄物取扱講習会実施
 - ・全国安全衛生大会参加、各種研修受講
 - ・安全の手引き改定
 - ・平成23年度安全衛生年度計画作成
-

B. 飯塚

- ・学部長を先頭とした学部内総点検(全体パトロール)の実施
- ・産業医、安全管理者、安全衛生連絡員による作業場点検(月1回)
- ・衛生管理者及び安全衛生担当者による作業場点検(週1回)
- ・機器の法定自主検査・点検の実施
- ・消防法関係の避難訓練、防災訓練(消火訓練、救急救命講習)の実施
- ・ハザードマップの再調査およびリスクアセスメントによる予防対策の検討、実施
- ・ヒヤリハット情報の収集、分析、対応策の検討、実施
- ・学生実験のオリエンテーション、研究室配属時の安全教育を実施
- ・学生安全衛生連絡員の導入教育およびフォローアップ教育の実施
- ・薬品取り扱い説明会の開催
- ・教育訓練実施記録回収システムによる記録収集(年2回)
- ・授会での啓発活動(巡視結果報告等)
- ・安全衛生スローガン募集、掲示による啓発活動(年4回)
- ・除細動器(AED)の管理体制の構築
- ・越年灯油の回収活動による防火対策
- ・設備増設(非常灯、街灯、手すり、鳩よけ網、トイレクリーナー、行き先案内版、新棟B1Fシャワー室など)による安全・衛生に関する改善
- ・レーザーの管理体制の検討
- ・廊下物品の調査および整理

- ・喫煙場所の集約および喫煙マナーの啓発活動
 - ・安全の手引きの国際化の取組
-

C. 若松

- ・工作室利用者講習会(2回)
- ・新入生向け救急救命講習実施
- ・消防避難訓練実施
- ・衛生管理者巡視(毎週)
- ・産業医等巡視(毎月)
- ・総括安全衛生管理者巡視
- ・安全衛生委員会委員による巡視
- ・安全管理者等巡視
- ・安全衛生講習会にて優良研究室表彰と事例発表
- ・消防避難訓練, 非常時の自動ドア動作確認作業
- ・安全衛生ミーティング実施(4回)
- ・スローガンの電子掲示(年4回)
- ・安全衛生だより配信(年4回)
- ・月別重点項目の電子掲示(毎月)
- ・若松地区緊急連絡表改訂
- ・安全の手引き改訂
- ・若松地区事故処理に関する申し合わせ改定
- ・緊急連絡体制作成
- ・自主検査推進月間実施
- ・年次リスクアセスメント推進月間
- ・屋内危険物貯蔵庫定期点検
- ・平成23年度安全衛生年度計画作成

平成 22 年度安全衛生活動報告書

平成 24 年 3 月 30 日 発行

編 者 九州工業大学安全衛生推進室
発行所

〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町 1 番 1 号

電 話 (093) 884 - 3536
